

トップ・アナリスト：トランプのクリントン財団調査がエリートを暴き出す？

チャールズ・オーテルが腐敗の規模の大きさを暴く

【訳者注】現在ほとんど消滅したと言われるが、クリントン財団というものが、いかに規模が大きく、悪辣で巧妙だったことを知る人は少ないだろう。関係した国家や団体は、ほぼその詐欺の実態はわかっていたのだが、それを言い出せば、自分にも類が及ぶので、いまだにそれを暴く者がいないと言っている。私事だが、私もある「世界の紛争地域の子供たちを救う」慈善活動に、長年にわたって寄付をしてきた。もしこの団体がクリントン財団の傘下にあったのなら、私は彼らを肥やしていた可能性がある。イルミナティと言われる人々の特徴は、「良心を全くもたない、人を平気で裏切ることのできる人々」であることがようやく一般に知られてきた。「イルミナティ理解のために」の3ページに、彼らの慈善事業がどういうものか書かれている。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160213.pdf>

Daniel Newton, www.neonnettle.com

January 11, 2018



ドナルド・トランプの、腐敗したクリントン財団と思われるものに対する、新しい調査は、グローバル・エリート、外国の政府高官、それに、この慈善団体の詐欺活動と言われるものから利益を得ている“威信ある”諸財団を、暴き出すことになるだろう、とウォール街のトップ・

アナリストは言った。

このアナリスト Charles Ortel は、「おそらく外国の個人や団体は、この慈善団体の詐欺といわれるものを十分に知っているのだが、彼らはそこから利益を得ているので、沈黙しているのだろう」と言った。オーテルによれば、ドナルド・トランプの、この財団に対する新しい調査はこの潮流を逆転させうるものである。 <http://www.neonettle.com/tags/donald-trump>

この新しい FBI の調査は、過去 20 年に及んで、この慈善団体に寄付をしてきた政府や個人への、警告のシグナルになるはずだ、とチャールズ・オーテルは、スポーツニクに話した。 <http://www.neonettle.com/tags/fbi>

「多数の政府が、かなりの金額をクリントン財団に送ってきました。しかし、これまでのところ、クリントン財団は、各政府の寄付に関して、その明細を、要求されている通りに、公的に明らかにすることを拒否しています。(例えば、ニューヨークやカリフォルニアの州法は、これを要求している)」と、オーテルは警告する。



このアナリストが光を当てたことは——「1997 年以降、[クリントン財団への] 総額 23 億ドルの公表された寄付のうち、フランス、英国、ノルウェイ、スペイン、韓国、その他の政府、並びにゲイツ財団の後援を受けた、UNITAID と呼ばれる非政府組織 (NGO) が、6 億ドル以上を、HIV/エイズと戦うクリントン財団の方へ送っているが、それは法的に組織されたものでもなく、活動もしていない」ということである。

<https://sputniknews.com/politics/201708051056213750-clinton-foundation-foreign-governments/>

ドナルド・トランプ大統領は、最近、ヒラリー・クリントンの助手であった Huma Abedin

を投獄すると約束し、司法省が彼女を庇って、深層国家の陰謀の片棒を担いでいるとして、同省をこきおろした。



スプートニク・ニュースによれば：——スプートニクとの前のインタビューで、クリントン慈善団の詐欺と言われるものへの私的な調査を行ってきた、このアナリストは、外国政府がこの財団の不法行為を暴くのを、嫌がっているらしいのはなぜか、という疑問を繰り返し発した。<https://sputniknews.com/analysis/201801111060682477-clinton-foundation-foreign-governments/>

「クリントン“慈善事業”と関わりを持っているらしい、多くの外国政府は、慨嘆すべき振る舞いをしてきたことになる」と、オーテルは2017年8月、スプートニクに話し、この問題を徹底して調べていけば、「自分が悲痛な当惑に陥り、そこに関わった個人や外国政府に対する、法的摘発の問題」にまでなりうることを、明らかに理解できたはずだと言った。

過去20年に及んで、クリントン夫妻は、グローバリストのネットワークに他ならないものを作り続け、彼らに忠実な者を、外国政府の重要な地位につけてきた。

2014年、Judicial Watch（法監視団体）のTom Fittonは、ヒラリーが国務長官に就いている間に、ビル・クリントンが、世界中で演説し、指導して回る活動をしたことに、人々の注意を向けさせた。

この（私的）監視団体が発表した文書記録によれば、ビル・クリントンは、報酬の高い演説を、中国、ロシア、サウジアラビア、エジプト、アラブ首長国連邦、中央アメリカ、ヨーロッパ、トルコ、タイ、台湾、インド、ケイマン諸島で行った。

「どのようにして、オバマの国務省が、何百という倫理的紛争をうまくかわし、それが、クリントン夫妻や彼らのビジネスが、外国の個人や団体、また影響力を求める企業から、カネを受け取ることを可能にしたのか——まったく謎だ」と、フィットンは強調した。

「元大統領のクリントンが、地球を歩き回って、巨額の講演料を集める一方で、彼の妻がアメリカの対外政策を牛耳るなどは、暴力といってよいものだ。」

トランプは、逃げ回る“無規制のグローバリズム” 主導者たちを、捕まえるだろうか？

しかし現在、逆の傾向が勢いを増しているようだ。このウォール街アナリストが、昨年 11 月のスプートニクとのインタビューで言ったように、サウジの皇太子、モハメド・ビン・サルマンの腐敗に反対する運動は、11 人の皇太子の拘束という結果となり、そこには世界で最も富裕な人々の一人で、クリントンの盟友、Alwaleed bin Talal 皇太子が含まれる。彼の拘束は、このような変化の一部と考えることができる。

ヒラリー・クリントンが米国務長官をしている間に、クリントン財団は、外国の諸政府から、数百万ドルを受け取ったが、少なくとも、一つの寄付行為は、国務省の倫理的合意に反するものだ、とワシントン・ポストは報じている。



ウォールストリート・アナリスト、
チャールズ・オーテル

一方、2017 年 12 月 21 日、ドナルド・トランプは大統領令に署名し、アメリカ国内に存在する外国の団体や個人の資産で、「深刻な人権乱用」や腐敗に関わるものは、凍結されることになった。それだけでなく、この大統領令は、アメリカ市民で、このような乱用を援助または参加した者も、対象にしている。この命令には、パキスタン、ウクライナ、ガンビア、スーダン、ニカラグア、中国、ロシア等、13 の外国の個人のリストが含まれている。

<https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/executive-order-blocking-property->

[persons-involved-serious-human-rights-abuse-corruption/](#)

金融関係ブログ [Zero Hedge](#) が主張するところでは、このリストに含まれる数人が、クリントン夫妻またはクリントン財団につながっているとされる。

<https://www.zerohedge.com/news/2017-12-28/new-trump-executive-order-targets-clinton-linked-individuals-lobbyists-and-perhaps>

これは、トランプ政権が、世界中のクリントン夫妻の盟友を、除こうとしていることを意味するのだろうか？ 彼らは、容易に想像できるように、米大統領の対外政策の、邪魔をすることが考えられるからである。・・・(数行略)

オーテルは強調する：――

「もしトランプ大統領が成功し続けるならば、1989年から2016年まで、うまくやってきた旧体制の仲間たちは、抵抗を続けるかもしれませんが、日一日と、世界中のますます多くの人びとが、ドナルド・トランプと彼のチームがとっている、破壊をもたらす過去の政策を逆転させようとする行動に、賛辞を送り始めています。」

一方、トランプは、1月23-26日、スイスのダボスで行われる「世界経済フォーラム」において、「アメリカ第一」アジェンダを推進する用意をしている。フォックス・ニュースのアダム・ショーによれば、オブザーバーの考えでは、ダボス会議の方針は“グローバリスト”の超国家的アプローチであって、トランプが唱えるような国家主義的精神とは相容れない。

この会議を評して、オーテルは、彼のツイートの一つで、このような修辭的疑問を発している；――「ダボス会議の、どれだけ多くの人びとが、多数の政府と威信ある財団が、@ClintonFdnでの詐欺を援助し、専門的アドバイザーは、これらを隠ぺいしていたことに興味をもつだろうか？」

隠されたもので顕われないものはない、とこのアナリストは信じている。彼の結論：――

「この大失態の規模を考えるならば、国際的慈善事業の重要性を考えるならば、そしてこれだけ多くの人びとが、これだけ長い間、これらの詐欺に協力し、そこから利益を得たかもしれないことを考えるならば、遅きに失したとはいえ、少なくとも、一つの政府が、代表として立ち上がって知らせるべきです――彼らすべてが協力して経営していたのは、その協力者の数を考えるなら、現代史上かつて試みられた、最大の詐欺団体と言ってよいものだったのです。」

--以上